

Yui

巻頭特集 国際バイオEXPOへの出展～5人の精鋭～

産学官民連携を推進する三重大学の「総合窓口」です

三重大学創造開発研究センター

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL:059-231-9078 / FAX:059-231-9047
E-mail:liaison@crc.mie-u.ac.jp
<http://www.crc.mie-u.ac.jp/>

三重大学創造開発研究センター

検索



三重大学全学シーズ集
<http://www.crc.mie-u.ac.jp/seeds/>

三重大学キャンパス・インキュベータ
<http://www.crc.mie-u.ac.jp/incu/indexi.html>



特集2

三重大学と産業との連携

～バイオ分野における共同研究～

 三重大学

三重大学創造開発研究センター
MIE UNIVERSITY Research Center for Creation

「Yui-結-」創刊にあたって

地域イノベーションは「結」の力によって生まれる



地域の持続的な経済成長をもたらすものは、地域におけるイノベーションの積み重ねしかあり得ません。三重大学では創造開発研究センターを中心として、地域と密着した産学官民連携活動に取り組んできました。産学官民連携活動とは、異なる組織の人と人との結びつきによって地域にイノベーションを引き起こそうとする活動です。物体としての形は見えませんが、人と人との結びつきの力は測り知れません。この度、人と人との結びつきを仲立ちする機関誌として「結」を発刊することになりました。産学官民連携に役立てていただけるものと大いに期待しています。

三重大学 学長 豊田 長康

CONTENTS

三重大学 産学官民連携マガジン **Yui**
Vol.01 2008.07

03 巻頭特集 国際バイオEXPOへの出展～5人の精鋭～

09 三重大学キャンパス周辺エリア情報

10 特集2 三重大学と産業との連携 ～バイオ分野における共同研究～

12 みえメディカルバレー構想

14 美し国みえ part1

15 結人【むすびーと】 三重大学大学院に学ぶ7人の社長たち

23 美し国みえ part2

Professors

巻頭特集

国際バイオEXPOへの出展 ～5人の精鋭～

2008年7月2・3・4日、東京ビッグサイトで開催される国際バイオEXPO。

三重大学から出展するのは、
バイオ分野で多大な功績をあげている精鋭の5人。
巻頭特集では、その5人の秘密に迫ります！

- | | | | |
|----|----------|-------|--------------------|
| 04 | 工学研究科 | 吉村 哲郎 | Tetsuro Yoshimura |
| 05 | 生物資源学研究科 | 前田 広人 | Hiroto Maeda |
| 06 | 生物資源学研究科 | 江原 宏 | Hiroshi Ehara |
| 07 | 生物資源学研究科 | 荻田 修一 | Shuichi Karita |
| 08 | 医学系研究科 | 西村 訓弘 | Norihiro Nishimura |

— どのような学生時代をお過ごしでしたか

私が大学生だった頃は、いろんな大学の理学系学部、生物学だけでなく、化学や物理学専攻の学生が集まって、何ができるのか、どういった研究を行っていくべきなのかを話し合い、探究するサークルをつくっていました。熱心に学問について話し合いましたし、キャンプに行ったりといった遊びもその仲間達と一緒に楽しみました。今の学生達をみると、どちらかというと個人主義で、“まとまり”というものが昔に比べて弱くなっている気がします。また、画一的な受験の体制にも問題があるのですが、能力別に輪切りが進み、例えば学科の中で学生に個性の幅というものがあまりなく、お互いの間で刺激の遣り取りが少ないように感じますね。

— 研究で成果を挙げるには、どんなことが重要だと思われますか

ポイントは二つあると思います。一つ

目は、第一線ではなくサイド（裾野）に目を向けるということですね。第一線の研究は、競争が激しいしコストもかかるので、地方大学では、なかなか太刀打ちするのは難しいと思います。でも、ちょっと視点を変えてみると、見落としているところにチャンスがあります。その部分に目をつけることですね。そのためには今、世界全体で何を皆が目指しているのか、目指すべきかを把握する洞察力が必要となります。

二つ目は、垂直思考ではなく、水平思考をすることです。垂直とは、常識的で、一般的な考え方。そうではなく、ちょっと水平に物事を見てみると新たな発見ができます。碁で、定石というのがありますが、大局を観て、定石を打つのではなく、ちょっと変わった動きを加えてみると勝つことがあります。そういった、ユニークさをもつことが重要です。

— 研究者に向いている人というのはあるのでしょうか

そうですね、優等生ではなく、能力でいうと真ん中あたりの人が向いていると思います。そういった人は興味だけで努力をしますので、ある時、とんでもない瞬発力で素晴らしい成果を出すことがあります。それは、例えば楽器などでも一緒に、才能がないと言われていても、好きで好きでこつこつ練習を続けていくと、ある日すばらしく感動する音色が出ることがあり、これと似ています。

ただ、研究の世界では、世界初の論文を出しても、国際競争の中の駆け引きで、負けてしまうことがあります。そういうことは、私も経験しています。研究者は、真面目にこつこつと研究だけすればいいのではなく、事業家肌でないとやっていけない時代になり、そのような才覚も必要です。自分のことをいうと自画自賛になりますが、私も、実は昔すごく内気で身体も気も弱いタイプだったのですが、今は昔の友だちに、変わったと驚かれています。

垂直思考ではなく、水平思考をすることで見えてくるもの

三重大学大学院 工学研究科

リボソームバイオ工学研究室

吉村 哲郎

招聘教授 / 名誉教授

【専門分野】 生物工学

【研究テーマ】

リボソーム（人工脂質膜小胞）の医学への応用

世界で初めてコイヘルペスウイルス病に対する経口リボソームワクチンの開発に成功し、実用化を目指している。また、組換えプロテオリボソームの開発にも成功し、自己免疫疾患の診断薬及び脳標的化リボソームへの応用展開を図っている。最近、リボソーム自動製造装置の製作にも成功した。

Tetsuro Yoshimura's DATA FILE

年齢：66 歳
出身地：奈良県
平均睡眠時間：6 時間
平均起床時間：午前 9 時
趣味：音楽、囲碁（最近は全て御無沙汰）
好きな食べ物：野菜
嫌いな食べ物：甘酢（らっきょう、酢レンコン等）
三重県の中で好きな場所：杉林
座右の銘：五訓：1 体力、気力、胆力、2 単純明快、3 大局観、4 無党派、5 非凡なる凡人
好きな本：禅の書（柳菴山著）
好きな映画：砂の器
尊敬する人：周恩来

過酷な航海調査は、仲間同士励ましあって一緒に乗り越えます

三重大学大学院 生物資源学研究科
生命圏生命科学専攻 海洋生物科学講座

前田 広人 教授

【専門分野】

分子微生物生態学、環境微生物学、
環境化学、応用微生物

【研究テーマ】

1. 赤潮防除に関する研究
2. ラン藻ピコプラクトンの生理生態に関する研究
3. 光合成細菌の有効利用に関する研究
4. 水産養殖におけるプロバイオチックの応用に関する研究
5. 水質および底質の改善手法に関する研究

— どんな学生時代を過ごされましたか

鹿児島大学、京都大学大学院と進んだのですが、学生時代はバイクに夢中でした。ツーリングしたり、山中を走ったり、今思うと危険なことも沢山しましたね。今の学生達にも死ぬ気で遊び、死ぬ気で勉強して欲しいです。何事も精一杯「楽しむ力」を身につけて欲しいと思います。

— 海に出ての調査も多いと思いますが、海での調査でのご苦労を教えてください。

船で沖縄やハワイなどに航海調査へ行くことがあります。まぐろなどの魚を取り、中に含まれる微生物を調べるのですが、ハワイまで船で行くとどのくらい掛かると思いますか。約 2 週間ほどかかるのですが、人間というのはやはり陸の生き物なんですよ。2 週間、周りに海だけという環境の中にいると、本当に辛くて

ノイローゼになります。私は、6kg 痩せました。船酔いもしますし、お風呂が船首のほうにあるので、波が高いとひっくり返りますね。それを乗り越えられるのは、仲間と一緒にだからですね。一人で閉じこもっていたらダメです。みんなで馬鹿話をしてなんとか気分を明るくすることが必要ですね。海での調査は本当に過酷なんです。

他にも、これは研究とはあまり関係ないですが、冷凍庫の中に閉じ込められてしまったことがあるんですよ。本当は、一人で冷凍庫に入ることは固く禁じているのですが、油断してしまったのでしょ。ボタンと扉がしまり、開かなくなっていました。携帯も通じないし、あいにく土曜日で叫んでも誰も気付かない。非常ベルを鳴らしても、人がいませんからね。扉に体当たりをしても開かなくて、もうダメかという思いもよぎりま

した。結局は、体中あざだらけになりました。思い切り扉を蹴ることで、何とか開いたのですが、そのまま開かなかったらと考えるとぞっとしますよ。慣れてくるとこうゆう油断が出てしまいますからね、本当に慢心はいけません。

— 今後、伊賀に設置される三重大学サテライトキャンパスのセンター長にも就任されるそうですね

はい。こちらは、環境・食・文化に関する伊賀の研究拠点として 2009 年 3 月末にオープンを予定しています。これは、伊賀・名張地域が一体となって、地域資源を有効活用し、産官学の連携による共同研究、新産業創出及び人材育成の拠点施設となることを目指すものです。特にメディカル関連企業の集積促進によるクラスター形成を計ります。伊賀の地域発展に貢献できるよう尽力していきたいと思っています。

——学生時代の思い出を聞かせてください
埼玉県自然豊かな山間部、秩父連山のふもとで幼少時代を過ごしました。テニスが好きで昔からずっと続けています。ただ、大学時代はテニス部ではなくジャズ研のピックバンドでピアノを担当していました。コンテストに出たり、ナイトクラブで演奏したこともあります。その頃の仲間には、プロのミュージシャンになった者もいます。

——進学先に日本大学農獣医学部を選ばれた理由は何ですか

将来、国際的なフィールドで活躍したいという目標をもっていました。熱帯植物や環境保全の研究教育が活発で、国際的な分野の活動を行うことが出来るということでこちらを選びました。その頃、恩師に言われて印象に残っているのが、「10年ひとつのことに取り組み」という言葉です。やはり、ひとつのことを粘り強く続けていくことで、大きな成果を挙げることができます。私の行っているサゴヤシの研究も、長年続けてやっと成果が表れてきたと言えます。今、その言葉の重みを実感しますね。

——熱帯雨林地帯など厳しい環境で調査・研究を行う上で、必要なことは何でしょう。
道なき道を進んで行かなくてはならないので、何と言っても強靱な体と情熱ですね。例えば、南太平洋の孤島に船で向かったのはいいけれど、島に船が寄せられずに海に飛び込んで泳いで上陸とか、一日中激流をカヌーで漕ぎ続けたりなんていうこともあります。チームメンバー皆、マイライフジャケットを持って出かけていますよ。あとは現地の方々とのコミュニケーション能力かな、協調性というか。

——21世紀の環境保全型植物といわれるサゴヤシの優れている点を教えてください

エネルギー資源の問題は、今後益々重要な課題になっていきますが、食料として広く利用されている植物をエネルギーの生産に回すと、食料の高騰などの問題を招きます。サゴヤシは、海水が混じる水でも育ち、作物栽培が困難なやせた土地や湿地にも適応します。何より一本で300kgのでん粉、日本人なら5人で1年間に消費する米に相当するほどの収穫

が得られます。気象変動の影響を受け難いこと、一度植え付けると半永久的に収穫できることも特徴です。病気や虫の害もなく、農薬を必要としないので生態系にも人にも安全です。また、二酸化炭素の吸収量は多く、温暖化防止にも貢献すると考えられています。食品としては勿論、エタノール原料や、生分解性プラスチックにも利用可能なサゴヤシを実用化し、広く役立てることが、今の私の夢であり目標ですね。

——今の学生を見て思われることはありますか

自ら進んで語学を身につけようとしたり、TOEICのスコアアップを目指したりなど、キャリアアップに励むところはしっかりしているなと思いますね。ただ、準備に時間をかけて慎重になる傾向もみられるので、冒険心を持って少し無理をしてでも思い切ってやって欲しいなと思うこともあります。どんどん世界へ出て行って国際的に活躍して欲しい。そのための舞台を用意するのも、私の重要な仕事だと思っています。

厳しい環境での調査・研究には強靱な体と情熱が必要です

三重大学大学院 生物資源学研究科
資源循環学専攻 物質循環学講座

江原 宏 教授

【専門分野】
作物学・熱帯農学（植物生態生理）

【研究テーマ】

サゴヤシなど有用植物の資源化、
環境ストレス抵抗性機構の解明、
温暖化・資源枯渇対策

Hiroshi Ehara's DATA FILE

年齢：45歳
出身地：埼玉県（小川町：「和紙の里」として知られる）
平均睡眠時間：6時間半
平均起床時間：6時半
趣味：テニス、三線
好きな食べ物：茄子料理
嫌いな食べ物：とろろ
三重県の中で好きな場所：朝熊山
座右の銘：一念天に通ず
好きな本：「深夜特急」（沢木耕太郎）、「沈まぬ太陽」（山崎豊子）
好きな映画：「ウェールズの山」（The Englishman Who Went Up a Hill But Came Down a Mountain）、「レイダース/失われたアーク（聖櫃）」（Raiders of the Lost Ark）
尊敬する人：小合龍夫（大学院時代の恩師）

今学んでいることは実生活と深く結びついているという意識を持ってほしい

Shuichi Karita's DATA FILE

年齢：48歳
出身地：名古屋
平均睡眠時間：6時間
平均起床時間：7時半
趣味：スポーツ観戦、鉄道
好きな食べ物：なんでも
嫌いな食べ物：とくになし
三重県の中で好きな場所：鳥羽展望台
座右の銘：色即是空
好きな本：専門書（知らないことを教えてくれる）
好きな映画：October Sky
尊敬する人：父親

三重大学大学院 生物資源学研究科
資源循環学専攻 物質循環学講座

苅田 修一 准教授

【専門分野】 応用微生物学
【研究テーマ】 植物繊維の微生物酵素分解

バイオマス酵素糖化：植物細胞壁を構成するセルロースは、地球上で最も大量に生産されるバイオマスである。これを糖化する酵素をセルラーゼという。本研究では、セルラーゼがモジュラーな構造をもつ酵素であることを利用し、モジュールシャッフルにより作成した新規酵素を使ったセルロース糖化を検討している。（平成19年度版 研究成果情報集より引用）

——どんな学生時代をお過ごしでしたか
私は名古屋出身で、昔から当然野球は中日ドラゴンズ、サッカーは名古屋グランパスエイトを応援してきました。両親も子供も代々中日ファンでファンクラブにも入っています。

父親の影響で化学を志し、三重大学農学部へ入学したのですが、1～2年生の頃は遊びに熱中してほとんど学校に行かなかったんです。ただ、3年生の頃に微生物学に出会い、4年生になってからは、研究に没頭することに喜びを感じ始めました。その頃は、バイオテクノロジーの黎明期で、今のように設備が整っていたわけでもないの、自分で機械を手づくりして実験することもありました。

——卒業後は、民間企業に就職されたのですね

大学院卒業後、民間企業で研究員になりますが、しばらくして開発部門へと異動になりました。開発はターゲットがはっきりしており、期限も決められていることが多いので、いわゆる“研究”とは異なる部分もありました。ただ、自分が開発を手がけたものが、商品になって

世の中に出るというのは、とてもやり甲斐があり楽しかったですね。

——大学に戻られたきっかけはなぜですか

ある日、三重大学の遺伝子実験施設で働かないかという話があったんです。正直、民間の仕事もやり甲斐があり、非常に迷いました。ただ、大好きな名古屋に近くなるということや、研究の道への未練もあったので、思い切って新しい道に踏み出すことにしました。今思うと、それが人生における大きなターニングポイントでした。その後、大学教員の道を歩むことになるとは、学生時代には思ってもみなかったことです。

——研究で面白いと感じるのはどんなところですか

論文を読み、新しい技術や説を知ることなど非常に楽しいですね。昨年ははっきり分からなかった部分、今年は解明されていたりするとわくわくします。また、実験がうまくいったときは本当に感動します。もう自分で実験をすることは、ほとんどありませんが、お風呂に入っている時など日常のふとした瞬間に「こうしたらいいんじゃないか？」とひらめい

て、急いで学生に指示することもあります。

——今の学生に伝えたいことはありますか

自分が学生だった頃と比べると、みなきれいですよね。服装も髪型もおしゃれだし、TVやパソコンなど何でも持っています。何もない部屋で麻雀卓を囲んでいた自分の学生時代とは大きな違いがありますね。ただ残念なのは、学生から、たまに「これ、覚えたほうがいいですか」と質問されること。そりゃ覚えたほうがいいに決まっていますが、試験に出るから覚えるのではなく、今学んでいることは実生活と深く結びついているという意識を持ってほしいです。例えば、（童謡で歌われる）「黒やぎさんはなぜお手紙を食べたのか」という疑問を、消化管の構造や共生微生物を研究することで解くことができるし、なぜ、バナナには種がないのか、といった身近な問いにも学問的に答えることができます。このように、学問と現実というのは繋がったものです。好きなことをやるにしても、社会に出たときに大きな武器となるよう、しっかり（自分の）モノにしてほしいですね。

実現しようと すること に対して感じる ギャップを 埋めるように 努力を

三重大学大学院 医学系研究科
生命医科学専攻 環境社会医学講座 トランスレーショナル医科学
三重大学医学部 産学連携医学研究推進機構
西村 訓弘 教授

【専門分野、研究テーマ】
トランスレーショナル医科学。食と農と健康の関係

Norihiro Nishimura's DATA FILE

年齢：43 歳 出身地：三重県会郡南伊勢町（旧：南島町）
平均睡眠時間：6 時間 平均起床時間：午前 6 時
趣味：大学での仕事 好きな食べ物：赤福
嫌いな食べ物：納豆（食べ物だとは認識していません）
三重県の中で好きな場所：伊勢神宮
座右の銘：人事を尽くして天命を待つ
好きな本：内田康夫の推理小説 好きな映画：GATTACA
尊敬する人：吉田松陰

——トランスレーショナル医科学とはどのような分野でしょうか

トランスレーショナルリサーチといって、基礎研究を臨床現場へ応用させようという取り組みは以前からあるのですが、それだけに留まらず産業界・ビジネス現場への実現を目指すということです。今、私の研究室には、企業の経営者の方が7名通われていますが、医学知識をもとに事業開拓をするにはどうすればいいか、一緒になって考えましょうという姿勢で行っています。

——どんな学生時代をすごされましたか

大学時代はバイトをしてお金を貯めては、海外へ行きました。オセアニア方面へよく行きましたね。宿も決めずに向かうのですが、いわゆるバックパッカーというよりも、結構優雅に旅していましたね。あとは、レゲエバンドもやっていました。トランペットを吹いていたのですが、そういったライブ活動をしていました。学校では、講義を聴かずに小説を読んだりして、いい学生ではなかったですね。今自分が講義をする立場になって、そのツケが回ってきている気がしますね。（笑）

——研究者になろうとは、その頃から考えてましたか

そうですね。思っていました。ただ、私は大学院には進まなかったので学部卒なんです。それでも30歳までに博士の学位を取ろうという目標をたてました。卒業後、まずは神戸の鉄鋼会社に就職しました。当時はバブル期で企業が多角化してしまっていて鉄鋼会社が研究所を持っていたんですね。学部卒の自分でもこの会社なら、経歴からいって研究所に配属されて研究が続けられるに違いないと考えたんです。そこでは、主に地球環境問題、CO₂削減、污水处理などの研究をしていまして、私は研究しながら論文を書いて、25歳位の時、学位を取ろうとしたんですが、年齢が足りなくてだめだったんです。だから、違うテーマでまた論文を書いて30歳までに学位を取ることが出来ました。

その後、神戸の震災などがあり、考えた末、アメリカに行く事にしました。アメリカの企業に就職して英語の世界で勝負しようとしたとき、自分にはまだ力が足りないと感じましたね。このように、40歳くらいまでは、自分が実現し

ようとするに対して感じるギャップがあって、これを全て埋めようと思って努力しました。英語もネイティブレベルになるまで勉強し、論文を書いたり、自分たちで遺伝子診断のベンチャー企業を起こしたりなど様々な経験を経て、それまでに感じたギャップは、目標どおり40歳になって大体埋まったと思いますね。結構ねちっこく、出来るまでやるタイプなんです。新しいことをすると、負けることもあります、それで自分に足りない部分や、程度が分かります。あとは、それを埋めるように努力するだけです。30歳、40歳と長期的に自分でその都度たててきた目標はクリアできましたが、次の50歳の目標は、誰にも言っていないですね。ちょっと、今はまだ言えないですね。

——学生へのメッセージをお願いします

不戦敗はしないで欲しいですね。勝負をしないと、何も始まらないですよ。やってみて、もし負けても自分に何が足りないのか、その程度も分かります。そうすれば、おのずと自分がすべき事が分かってきますからね。



三重県総合文化センター

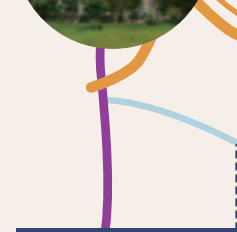
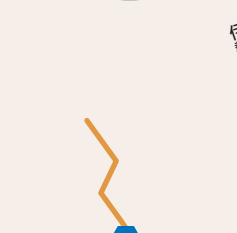
ホールや図書館など様々な施設で構成される「複合型文化施設」。

ア JR・近鉄「津」駅西口より徒歩約25分または
三交バス約5分
岡 059-233-1111

●三重県文化会館（大ホール）

音楽演奏会に適した、美しい音響が魅力のホール。
岡 059-233-1111

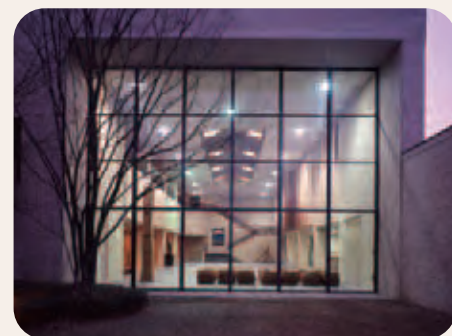
●県立図書館 岡 059-233-1182



三重県立美術館

企画展、美術講演会、公開美術講座、移動美術館など積極的な美術活動を実施。

ア JR・近鉄「津」駅西口から徒歩10分 岡 059-227-2100



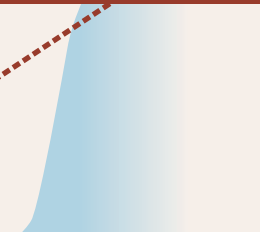
津なぎさまち

中部国際空港への海上アクセスの拠点。旅客船ターミナルとレストランなどで便利な施設「ベシスカ」で構成される。空港までを高速船40分で結ぶ、津の海上の玄関口。

ア JR・近鉄「津」駅より三交バス10分
岡 059-229-6618

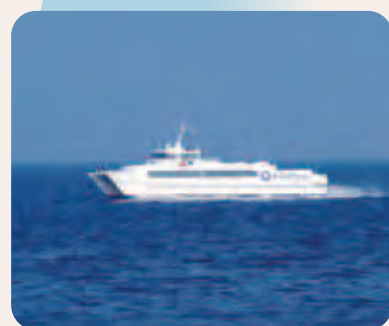


三重大学・
三重大学医学部附属病院
ア 近鉄江戸橋駅（三重大学前）から徒歩で約15分
岡 059-232-1211（代表）



アスト津

津駅に隣接し、市・県の公益施設のほか、ホテル、オフィス、店舗を併せもつ津市のランドマークビル。



辻製油株式会社

代表取締役社長

辻 保彦

辻製油株式会社は、「美と健康のために天然素材にしかできないことがあります」と天然素材にこだわった製品造りで、2008年度は約200億の売上げ達成を目標とする地域のリーディングカンパニーのひとつ。その内にあって、地域との共生にも力を入れており、地元の農家と契約して地元素材の育成や、三重大学との共同研究を活発に行い、あわせて社員の学位取得など人材育成にも力を入れている。

仕事においては、常に夢とロマンを持つことを心がけています

辻製油株式会社

本社 三重県松阪市嬉野新屋庄町 565-1
TEL:0598-42-1711
<http://www.tsuji-seiyu.co.jp/>

— 御社の主な環境への取り組みを教えてください

環境保全の取り組みに関しては、まず、バイオマスエネルギーへの転換を7年ほど前から計画しており、森林起源の木質チップをエネルギーとして使うボイラー工場が、今年度末に稼動する予定です。これによって、CO2の排出量はほとんどゼロとなります。また、搾油や抽出の際に出る副産物を、飼料や肥料などに利用することで循環型社会の実現を目指しています。また、地域周辺の清掃を全社員でする活動を月2回行っており、一人、ひとつバケツを持ち一杯になるまでゴミ集めをしています。

— 地域発展に対する役割としてはどうお考えでしょうか

地元で作った農作物を地元で加工するということに重点を置いています。地元農家の組合と契約し、地域の天然素材を確保しています。その際、一番重要なのは農家

の皆さんとの信頼関係ですが、それは、どれだけ地域に貢献できるかということでしょうね。地元素材を核とした「当社と農家の共生」、それが重要です。日本は今、食料の自給率が40%を切っている状態です。今後、農業というものをもっと重視していかなければならなくなるでしょう。これも、地域に密着した企業として地元農家とともに頑張っていく事が、地域の活性化に繋がると思っていますね。

— 若い方、学生へメッセージをお願いします

“夢のあるかぎり青春”という言葉を送りたいと思います。自分で夢を創り出すという事が大事だと思います。当社の経営理念の中に「私たちは安全と環境を第一に考え、いつも夢とロマンを持ち続けます。」という一文があります。私も、仕事においては、常に夢とロマンを持つことを心がけています。実は弊社は今、柚子に魅せられており、

実を搾汁した果皮から柚子の香りを抽出して製品に応用する研究を行っています。また、柚子の産地である高知県安芸市より苗木を取り寄せ、植林を行っています。柚子は育つのに非常に時間のかかる木なのですが、将来、松阪の中山間部が柚子の木で一杯になるのが今から本当に楽しみなんです。これが、今の私の夢ですね。

経営者データファイル Yasuhiko Tsuji's DATA FILE

趣味：読書にふけています
愛車：自分では殆ど運転しません
購読雑誌：フォークス・プレジデント他多数
三重大の中で好きな場所：静寂な伊勢神宮
座右の銘：「真・善・美」(清く・正しく・美しく)を大切にしています
好きな本：幅広く読んでいます。
特に経済・歴史に関する書物が多いです
好きな映画：映画鑑賞する時間がなくて困っています
尊敬する人：中村天風・安岡正篤



野菜の健康への効果を医学的に解明していきたい

デリカフーズ株式会社

開発室長

田井中 俊行

太陽と大地、水と空気の恵み、野菜、フルーツをその旬に、生きたまま、おいしく、お届けする—これがデリカフーズの掲げる FRESH&SPEEDY のテーマ。主な業務内容は、外食・中食産業へ新鮮な野菜を産地から届けることだが、同時に健康と環境に配慮し、農業の発展に貢献するため研究・開発・システム作り積極的に取り組んでいる。

デリカフーズ株式会社

東京都足立区保木間 1-23-2
TEL:03-3858-1037
<http://www.delica.co.jp>



— 以前から三重大学とは共同研究に取り組んでいるそうですが

現在、野菜の評価基準は、食品分析表(五訂)が主流なのですが、当社では抗酸化力、免疫力、解毒力という野菜が持つ力を数値化し、野菜の健康への効果を医学的に解明していこうと考えています。お店で野菜を買うときには、やはり見た目で判断しがちですね。まっすぐな野菜とか、整ったきれいな形の野菜など、そういった野菜は人工的に農薬で作ることができません。そうではなくて、中身がどのようにいいのか、その栄養成分、効果を客観的に分かるようにしたいと思っています。ゆくゆくは、消費者の方が安心して利用できるデリカブランドの野菜を生産することも視野にいれています。

— 具体的にはどのような研究なのでしょう

ゼブラフィッシュという研究用の小型の魚を使って研究しています。ゼブラフィッシュは、主要臓器・組織の発生・構造もヒトと良く似ており、一生が短いため疾患モデルを容易に作る事が可能です。例えば、メタボリックモデルのゼブラフィッシュを作り、野菜を与えて、その血中脂質を調べるなど、野菜の長期的な効能を色々な病気にあてはめて、短期間のうちにスクリーニングすることが可能です。

日本は、医療費がついに30兆円を超えました。当社では、この30兆円を「食」によって削減していきたいと考えています。日本の平均寿命は82歳ですが、健康

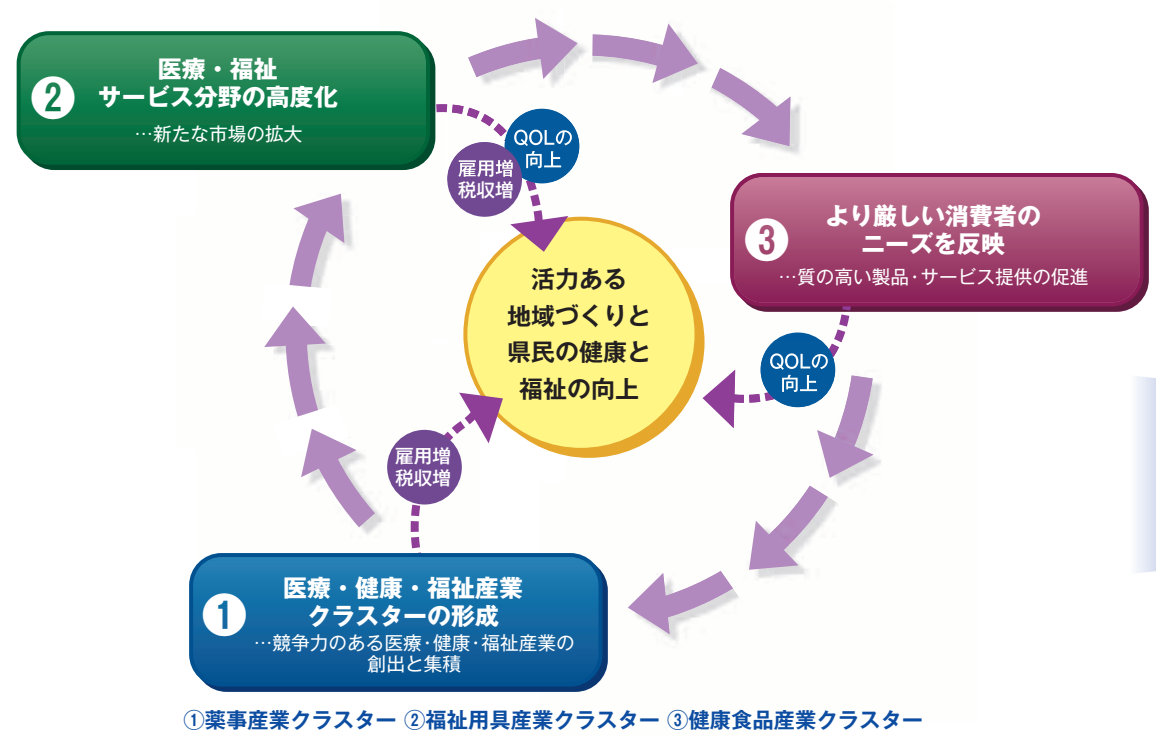
寿命は72歳といわれています。間の10年間は、病気になったり寝たきりであったりと、費やされる医療費は10兆円ともいわれています。その平均寿命と健康寿命が同じになれば、その間の医療費は大幅に削減されます。医学的な研究と農業がうまく連携していけば、増大する医療費の削減が実現できると考えています。

— 学生にメッセージがあればお願いします

そうですね、会社に入ってから勉強をするというのは中々難しいので、集中して勉強できる環境にある今が、非常に恵まれているんだということを分かって欲しいですね。社会に出る前に、一生懸命勉強して欲しいと思います。

21世紀のみえを拓く **メディカルバレー** ー構想 *Medical Valley Project*

メディカルバレー構想の基本理念



①薬事産業クラスター ②福祉用具産業クラスター ③健康食品産業クラスター

メディカルバレー構想では、医療・健康・福祉に関する様々な産業クラスターの形成により、競争力のある医療・健康・福祉産業の創出と集積を図ります。

メディカルバレー構想の基本戦略

メディカルバレー構想成功のための3つの要素

① **医療・健康・福祉産業クラスターの形成**
医療・健康・福祉に関連する多様な産業クラスターを多数形成していきます。なかでも、薬事産業、健康食品産業、福祉用具産業に関するクラスターの形成に取り組みます。

② **医療・福祉サービスの高度化**
福祉分野への民間活力の導入、IT化による情報開示などにより医療・福祉サービスの高度化と効率化に取り組みます。

③ **消費者ニーズの反映**
県民に対する適切な情報提供、事業者と消費者との交流・連携により、より厳しい消費者としての意識を高めるとともに、ニーズに対応した製品・サービスの供給能力を高めます。

8つの基本方向

産学官民連携の促進

研究開発・技術開発の促進

創業・新事業創出の支援

企業誘致戦略の推進

医療・健康・福祉サービス分野の高度化と効率化

情報提供の充実

推進体制の整備

人材の確保・育成

メディカルバレー構想を支える環境整備

今後 メディカルバレーが目指す姿



三重県が推進するメディカルバレープロジェクトは、医療・健康・福祉産業の振興を目的に産学官民連携・研究開発の促進をするため、フォーラムやみえメディカル研究会の開催、新事業創出の支援、治験ネットワークの構築、バイオ産業の創出、人材育成、国際交流・連携への展開などソフトインフラの整備を中心に事業を展開しています。

これらの取り組みの結果、企業と大学と行政の連携がスムーズにできるネットワークが構築され、共同研究や研究開発が活発に行われています。

また、臨床治験体制は、三重大学医学部附属病院が中心となり、県内の病院・クリニック113施設がネットワーク（みえ治験医療ネットワーク）を構築し、迅速で良質な治験が可能な体制を整えています。これにより県民の皆さんに高度で良質な医療の提供を目指しています。さらに大学発ベンチャー企業がこのネットワークと連携し、食品や化粧品などのヒットに対する機能性を評価するシステムも稼働しています。

日経BP社が実施している「全国バイオクラスターランキング」におきましては、三重県のメディカルバレーが2006年度4位と高い評価をいただいています。

今後、メディカルバレーはこれまでの取組成果をポテンシャルに替えて、産、学、官が自立してそれぞれの役割を果たしながら連携していく体制を維持しつつ、さらなる発展をめざしていきたいと思っています。

メディカルバレー URL ▶ <http://www.mvp.pref.mie.jp/>



三重県は、自然豊かな美しい景色と豊富で美味しい食べ物から、「美し国」と呼ばれています。独特の文化と歴史をもつ郷土料理をご紹介します。

津のソウルワード

うなぎ

暑い夏のスタミナ食といえば、「うなぎ」。津市は一人当たりのうなぎ消費量が全国でもトップレベル（総務省家計調査県庁所在地別うなぎの蒲焼に対する支出金額）。かつて、伊勢湾沿いの津ではうなぎの養鰻が盛んだったそう。今は、養鰻池は消えたが、多くの専門店が残っている。



はじめての食感!?

伊勢うどん

軟らかく煮た極太の麺が特徴。たまり醤油に出汁を加えた、黒く濃厚なタレを絡めて食べる。徹底的にコシをなくした極太麺は、他府県では珍しいのでは? お土産物としても大人気。

漁師達のどちそう

てこね寿司

カツオやマグロなどの赤身の魚を醤油中心のタレに漬け込んだ後、寿司飯へと合わせて食べる。かつて、志摩市の漁師が漁の合間に獲れたカツオなどに味付けをして、持参の寿司飯に手でこねてまぜて食べたのが始まりとされる。



目を見張る大きさ

めはり寿司

本来は、麦飯をソフトボール大に握ったおにぎりを高菜で包みこんで作る。大きな握りなので、口を大きくあけ、目を見張って食べなければならないことに由来すると言われる。熊野地方の山仕事や農作業で食べる弁当として始まったと伝えられ、現在でも一般家庭で作られている。

——人材派遣の会社を起業したきっかけを教えてください

もともとは、父親が松阪で家電店を経営していたんです。親戚にも自営業が多かったので、ゆくゆくは起業しようと、物心付いた頃から決めていました。会社員時代は、ソニー（東京）でマーケティングを担当していたのですが、「これから社会に必要とされ、伸びる業種はなんだろうか」と考えたときに人材派遣というものに行き着いたのです。

——御社の特徴はどういったところでしょう

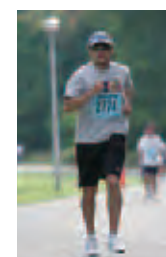
地域の人材を活かすというところに重点を置いています。地元の方々に、地元で就業してもらうことが、地域発展にも繋がっていくと考えています。また今後、人口減少に転じていく中で、若年層の能力開発が急務になります。弊社では、創業当時より派遣スタッフの職種別研修や安全衛生教育・情報管理教育など個々のスキルアップサポート、また福利厚生充実と各種交流イベントなどE S活動（従業員満足向上）を積極的に行っています。

加えて地方では、女性は結婚・出産を機に仕事を辞め、家庭に入る方が非常に多いですね。そういった方達の中にも有能な人材は本当に沢山います。私も、子育てが一段落した主婦層が、安心して社会に

出て働けるよう体制を整えたいと考えています。グループ内の保育所でお子さんを預かり、派遣では珍しいパート派遣といった分野にも取り組んでいます。

——三重大学大学院医学系研究科修士課程に通われていますが、きっかけはなんでしょう

以前から、会社が起動に乗ったら大学に入って勉強したいという思いはずっと持っていました。昨年夏、知人に大学院入学を誘われたとき、専門分野でもないし、正直自分が受かるはずないと思いました。しかし、教授にお会いして色々お話を伺いするうちに、挑戦してみたいという気持ちになり、優秀な家庭教師にお手伝いしてもらい、短期集中で受験勉強した結果、なんとか合格できました。今は、毎日講義を受けて、若い学生さんたちと一緒に勉強しています。課題レポートも沢山出していただけなのでありがたいですね(笑)。若い人たちと一緒に勉強するということ、不安な部分もあったのですが、皆さん訳隔てなく接してくださっています。本当に嬉しいことです。仕事との両立はもちろん大変ですが、毎朝欠かさずジョ



経営者データファイル
Masanori Ito's DATA FILE
趣味: 旅行、プロ野球などスポーツ観戦、ライブやミュージカルを観に行く、スキー、スキューバダイビング、ジョギング
愛車: CLK 320 & IS 250
購読雑誌: 日経ビジネス、東洋経済
好きな食べ物: 寿司、うどん、ラーメン (自称麺グルメです。)
嫌いな食べ物: ねぎ、タマネギ
三重県の中で好きな場所: 松阪神社、市後浜
座右の銘: 人事を尽くして天命を待つ
好きな本: 特になし。話題の本を月1~2冊程度
好きな映画: ダイハード、ターミネーター
尊敬する人: 井深大、盛田昭夫

派遣スタッフの幸福を第一に、地域の発展を目指す

株式会社ジェントリー

代表取締役社長 **伊藤 正憲**

株式会社ジェントリーは、中勢エリアを中心に、地域の人材開発・地域発展を目指す人材派遣会社。また、若年層の就業サポートや働く意欲を持つ既婚女性を積極的に活用、安心して働ける環境づくりに努めている。

株式会社ジェントリー

本社: 松阪市黒田町1654番地 TEL0598-22-3366
津オフィス: 津市西丸之内21-19丸の内ジャスティスビル TEL059-213-5518
<http://www.gently.co.jp/>



——代々続く製薬会社の4代目ですが、もともと跡を継ぐことをお考えでしたか

いいえ。実は全く考えておらず、大学在学中より友人と自分の会社を起業したんです。雑貨を輸入販売する会社でした。色々な事情から、その会社は閉めることになったのですが、取扱っていた商品の関係もあり、パキスタン・アフガニスタン・タイ・ミャンマー国境地帯など中東・アジアを旅して回りました。紛争地域では、兵士に守られながら進んだり、今考えると結構危険な目にも沢山遭いましたよ。英語が話せなかったこともあり、その後はアメリカに語学留学して、帰国してから、普通に営業職のサラリーマンをしていました。両親には、結構自由にさせてもらいました。利益分だけ歩合でお給料がもらえて、結構いいと思いましたが、会社ですからちょっと不自由な点もありますよね。そんなとき、父親に折り入って話があると呼ばれ、会社に

入ってくれと頼まれたんです。

——奥田製薬に入社後、どのような所に力を注がれましたか

その頃は、決まった数個の定番商品しかなかったんで、売上げもそんなに多くありませんでした。そこで、商品数を増やそうと考えました。どんな製品を作ればいいのか、営業活動で薬局などをまわりながら、売れ筋商品をリサーチして、沢山新商品を作ったんです。

あとは、定番商品も魅せ方を変えたということですね。例えば、弊社の商品で「奥田脳神経薬」というのがあります。これは、頭痛、肩こり、耳鳴り、めまい、イライラ軽減といった様々な効用があるのですが、その中でも特に他に類似薬のない「耳鳴り・めまい」という効能を大きく目立たせてパッケージデザインする事で注目され、売上げが上がりました。頭痛や肩こりの薬は多いですからね。そういった見せ方一つで、大

きく売れ方が変わるんですよ。

——社長の夢はなんですか

大学で学んだことを活かしてより多くの世の中の人と関わっていききたいと思います。時間は有限ですが、時間は使い方とも言えます。大学で学ぶことで、今までにないモノの見方、考え方ができるのではないかと思います。そして、仕事に繋げていきたいですね。

経営者データファイル
Tadashi Okuda's DATA FILE

趣味：サーフィン、スノーボード
愛車：GM CHEVROLET BLAZER
購読雑誌：クーリエジャポン、SAPIO、大前健一通信
三重県の中で好きな場所：市後浜
座右の銘：七転び八起き、勝てば官軍
好きな本：傭兵部隊 落合信彦
好きな映画：地獄の黙示録、ブレードランナー、ブラックホークダウン
尊敬する人：大前健一、松浦信男

大学で学んだことを活かして より多くの世の中の人と 関わっていききたい

奥田製薬株式会社

代表取締役社長 **奥田 正**

明治30年創業の歴史を持ち、「奥田胃病薬」をはじめとする各種和漢生薬を製造、発売し「薬屋の奥田」として親しまれてきた奥田製薬株式会社。和漢生薬とは、まさに人と自然の調和を求める概念を持つ。自然とともに生きる人々の健康な生活を願い、常に時代に即した真の医薬品のあり方を考え続けていく。

奥田製薬株式会社

大阪市北区天満1丁目4-5 TEL06-6351-2100
http://www.okudaseiyaku.co.jp



どんな世代の人達とも、うまく コミュニケーションが取れるように

株式会社中部メディカル

代表取締役社長 **落合 穰**

医療用から工業用までX線装置の製造販売やメンテナンスを主力業務にしている専門会社。その性能と品質の高さで信頼と実績を積み重ねている。また、島津製作所の協力工場として医療用X線装置の製造に長年携わってきた経験と技術を生かし、自社開発の工業向けX線発生装置の開発、タイヤや医薬品等のX線による非破壊検査装置のオーダーメイドといった特殊な装置の開発生産を行っている。

株式会社中部メディカル

三重県四日市市松原町33-5 TEL059-365-7248
http://www.chubumedical.com

——三重大学博士課程に入学されたきっかけを教えてください

以前、ドイツやノルウェーの国々を県のメディカルバレーの事業の一環で訪問したことがあるんですが、その時にお会いした向こうのバイオ企業経営者の方々は、皆当然のように博士の学位を持っていたんです。向こうでは、学位がないと最先端の技術の話ができないとみなされ、かやの外に置かれてしまうんです。今後、国際的な市場を見据えた時、学位を取ることが、当社の将来において大きなメリットを産み、可能性も膨らませるのではないかと考えまして決めました。もともと、会社を引退してから工学か医学系の大学で勉強をしたいと考えていたんです。それが、まあ少し早まりましたけど、いいタイミングでした。ただ、講義が夕方にありますので帰りが遅くなったり夜中に勉強したりして家族には非常に迷惑をかけるのが大変申し訳ないと思っています。

——三重大学との共同研究も盛んにされていますが

X線は発見されてから、およそ100年が経ち、もう新しい発見や技術の開発というものはないかなかなか難しいものなんです。やはり大学としては、新しい技術や研究で論文を発表したいという狙いもあるでしょうね。その点、我々企業側としては、なるべく早く実用化したものを市場に出したいという目的があるので、その差異を埋めて協力していくことが重要だと思います。

——御社の地域発展に対する貢献についてはどうお考えですか

メディカルバレーはシリコンバレー、クリスタルバレーに比べると中小企業を中心に構成されているのが特徴です。これが重要で、当社のような地域密着型の中小企業が成長することで、地元の雇用が大きく促進されると考えます。大企業の進出だけでは、雇用は増えますが他府県からの転入や一時的な派遣などが多く、地域に密着した雇用の掘り起こしに繋がっているとは言えないですからね。

——若い方、学生へメッセージをお願いします

仕事を自ら楽しもうという姿勢を持って欲しいと思います。勿論、嫌な仕事は必ずあります。でも、やりたくないと考えたら辛いだけです。仕事の中に楽しみを見つける努力をして欲しいです。また、学生の皆さんには社会に出る前に同世代だけでなく、特に上の世代の人達とも、うまくコミュニケーションが取れるようにしておくことが重要です。目上の立場の人に好印象をもたれることは仕事を円滑に進める上でとても大事ですからね。

経営者データファイル
Mamoru Ochiai's DATA FILE

趣味：読書
愛車：アウディA4アバント
嫌いな食べ物：松の実
三重県の中で好きな場所：自分の生活している地域
座右の銘：人生を楽しむ
好きな本：ビジネス書
好きな映画：SF・アクション映画全般
尊敬する人：上杉鷹山

品質の高い睡眠を実現させるため、研究できたらと思っています

河田フェザー株式会社
代表取締役 **河田 敏勝**

創業明治 24 年、現社長の河田敏勝氏で 5 代目の歴史を持つ。機械化により膨大な量を扱うダウン(精製羽毛)事業と、繊細で高度な羽毛加工技術が要求される装飾羽毛部門の両方を兼ね備えた事業形態は世界にも類をみない。その高品質な羽毛洗浄・加工技術は世界標準とされるほどである。



河田フェザー株式会社

明和工場 三重県多気郡明和町山大淀 3255
TEL0596-55-2431
<http://kwd.jp/>

——代々続く会社を継がれていますが、昔から経営者になろうと思われていたんですか

いいえ、全く。早稲田大学卒業後、一度一般企業に入りましたが、MBA を取るため、アメリカのコロラド州立大学へ留学しました。そのときは、睡眠 4 時間で今までにないほど勉強しましたね。友達は、ヒスパニックが多かったので、今でも英語はスペインなまりです。ほとんど、遊ぶ時間はなかったのですが、日曜日の 4 時間だけは皆で時間を作って、その時間は思い切り遊びました。カレーパーティーなど、よくやりましたね。

——日本に戻られたきっかけは

あと半年で卒業というときに、親父から電話がかかってきて、仕事が大変な状況だから手伝ってくれと頼まれたんです。でも、帰国したときにはもう状況は改善していて、あと 2 週間遅く電話したら帰ってこなくてよかったのにと、母親に言われましたよ。もし、そのとき帰国しなかったら、今でもアメリカに住んでいるでしょうね。私は日本より、アメリカのほうが性にあうんですよ。

——そのまま、河田フェザーに入社されたんですね

27 歳からこの会社に入って、色んな部署を一通り経験しました。昭和の終わり頃、こちらの明和工場を従業員と手づくりで作りました。さすがに、基礎と屋根だけは業者にお願いしましたけど。この地を選んだのは、これだけの規模を確保できるということと、一番は水です。羽毛を洗うときは、水がきれいでないといけないんです。同じ白でも全然違いますよ。

——御社の強みはなんでしょう

やはり、当社でしか、出来ない加工が多いですよ。この業界は本当に、難しいんです。羽毛について、知り尽くしていないとはじき出されてしまいます。やはり、信じ合える仲間同士、長い間私と一緒に事業をしてきた各供給国の友人たちが、その地域で一番、あるいは唯一になって残って来ていますので、特別の羽毛を集める事は他社に負けないと思います。これだけの規模の生産ラインを備えているのも世界的に見ても珍しいです。また、原料ルートもほぼ確立、安定していますから、我が社と一緒に仕事をすれば皆、ある程度は利益がでるようになっていきます。安売りはしないけど、他では手に入らない品質だから、無理なく売る事ができるというふうだね、そう

すると皆が幸せになりますよね。

——三重大大学大学院で学ばれようと思ったきっかけはなんですか

知人に誘われて、面白そうだなと思って。(笑)実際、面白いですね。だから忙しいけど、大変だとは思わないよね。楽しんでやっていますよ。大学院の仲間も皆個性的なので刺激になりますね。ゆくゆくは弊社で寝具も取扱っているということもあって、顧客である寝具店が、品質の高い睡眠という現代人に本当に要求されているものを、販売できるようにしてほしいと思います。そのために睡眠について研究できたらと思っています。

経営者データファイル

Toshikatsu Kawada' DATA FILE

趣味: 羽毛の研究、事業の効率化、最近ではサーフィン、ダイビング、ゴルフ、カー
愛車: Audi TT Coupe、車は 4 輪駆動しか乗りません
購読雑誌: Science、ダイヤモンド
三重大の中で好きな場所: 自宅、暖かい間の横山展望台
座右の銘: 好きこそものの上手なれ
尊敬する人: 人の意見を聞く事ができ、信念を持って物事を進められ、責任感のある人

三重大オリジナル感染予防グッズを開発したい

株式会社サカキ L & E ワイズ
代表取締役社長 **榎 宏之**

営業倉庫事業、輸送事業、製造加工業、産廃収集運搬業、不動産業、損保事業と顧客のニーズにあわせた柔軟な姿勢で企業と地域社会の発展を目指す。特に、医療機器製造加工業という分野において、使い捨ての感染予防グッズの開発など将来を見据えた事業を展開し、果敢に挑戦を続けている。

株式会社サカキ L&E ワイズ

三重県松阪市古井町 35 番地 TEL0598-51-8168
<http://www.sakaki.to>



——経営者になるまでの経緯を教えてください

実は、高校時代からなりたいた職業があったのですが学力の問題もあり挫折してしまい、「とりあえず好きだった音楽をやろう! どうせやるなら全国区!」と思い、東京の大学へ行きました。大学時代は、ライブハウスなどで活動してプロを目指した時期もありました。音楽活動は今でも続いています。卒業後、サラリーマンを 5 年程経験しました。元々、地元で父親が賃貸業をやっていたのですが、いろんな事情がありサラリーマンでいく予定でいたのを事業立て直しの為に呼び戻され帰ってきました。東京が好きだったので三重へは出稼ぎのつもりで「事業で成功して東京支店を作って東京へまた帰ってくるぞ」と思いながら来たのですが。今となっては東京は海は遠いし、自宅で、大音量で音楽を聴いたり演奏したりすることはできませんから、結果的には良かったのかもしれませんが。まあ、住むにはここ! 遊びに行くには都会かな…実際支店は出せていませんし! (苦笑)

——事業を始められた当初はご苦労もあったのでは

まず、営業倉庫業を始めたのですが、信用がないので、なかなか使ってくれる企業がないですよ。どうしようかと思っていたところ、飛込みで営業に行ったある大手企業に自作の在庫管理システムを気に入ってもらえ、使っていただけることになりました。倉庫というのは、お客様の資産を預るわけですから、非常に正確な管理が求められます。出庫・入庫の管理や在庫管理など、実績がないのに本当にできるのかと聞かれましたね。そのとき、

「できます」と約束した自分を信じてもらえて、それから他にも仕事がだんだん繋がっていきました。

——倉庫業以外にも多角的に事業をされていますか

営業倉庫業をまず基本とし始め、預ったら動かさないといけないという事で物流事業を始め、動かす前に加工が必要と物流加工もするようになり、不動産業、産廃業、損保代理店業とその時々で、お客様の要望に沿って柔軟に対応してきた結果そうなってきました。OEM の製造加工も初めは、倉庫の端をパーティションで仕切って始めましたが、取扱が増えるに従ってクレーム・事故が起きてお客さんに迷惑掛けてはいけないと思い、専用の工場を建てました。これからは、自社でも新商品開発をし、オリジナルブランドの「Cleyera」(クレイラ: 神木さかきの植物学の学術名) を世に出していきたいのですが、そのための知識・技術を得ることが一番の課題ですね。

——三重大大学大学院へ入学された目的を教えてください

入学のきっかけは友人からの誘いでしたが、医療用具の製造を始めたこともあって、研究開発の為に、もう一度きちんと勉強したいというのは前々から考えていました。ですから、大学へ通う一番の目的は、今後の仕事に繋げていくことです。主の指導教授以外に医療管理学関連の研究室を紹介していただいたので、そこで、三重大オリジナルの感染予防グッズの開発や自社ブランドの「Cleyera」の商品開発をしたいと考えています。実のところ、他府県の大学病院オリジナル商品につ

いては、もういくつか製造させていただいていますから、地元の三重大大学のものがまだ無いということで、それを開発するのが今、一番の目標というところです。

——学生へのメッセージをお願いします

躊躇せずに、何でもやってみてほしいというのがあります。早すぎる決断と、決断しないという 2 択だったら、若い人には迷わず早すぎる決断をして欲しいですね。なぜかという、決断が早いと結果がすぐ出るし、もし失敗してもやり直しができます。ずるずると決断しないでいると、深みにはまり手遅れということになりかねませんからね。また、仕事以外のことにもいろいろなチャレンジしてほしいと思います。私は音楽の他にもスキー、テニス、ゴルフ、ダイビング、写真、絵、オートバイ、外洋ヨットレースなど時間の取れる限りいろいろな趣味としています。そのことである知識・経験は当然のこと、沢山の友人ができます。それが、必ず人生においても仕事においても自分の大きなプラスになると思いますから。

経営者データファイル

Hiroyuki Sakaki's DATA FILE

趣味: 音楽活動(ドラム・ギター)、外洋ヨット、オートバイ、カメラ、スキー、釣り、ダイビング、その他もろもろ
愛車: MG-RV8、GSX1100S(刀)、TOYOTA CROWN
購読雑誌: 舵、Jazz Life、
三重大の中で好きな場所: 志摩ヨットハーバー
座右の銘: 高校の時の友達の母から言われた「なにがあっても人間最後は根性やんな!!」の言葉
好きな本: 念仏よちよち・竜馬がいく! あいつとラバイ! (漫画)
尊敬する人: ケインズ、ランボー II
尊敬する人: 坂本竜馬、本田総一郎

中小企業の経営者と大学が 協力関係を築くことが重要です

万協製薬株式会社

代表取締役社長 **松浦 信男**

阪神大震災を機に神戸から三重県多気町に移転、その後売上が約 50 倍になるなど急成長を遂げている。スキンケア商品に特化したアウトソーシングサービス業という新しいビジネスモデルを開拓し、自社技術の提案供与型 OEM を行っている。また、「熊野古道クリーム」など自社ブランド製品の企画・開発・製造、他社開発製品の受託製造も行う。

万協製薬株式会社

三重県多気郡多気町五社 1169-142

TEL0598-37-2088

<http://www.bankyo.com/>



——三重大学大学院博士課程に通われることになったきっかけはなんでしょう

私は、様々なビジネスセッションで講演を行うことが多いのですが、その時三重大学の教授に声をかけていただいたのが最初のきっかけです。三重大学は、今後県内の企業の社員を大学院に積極的に受け入れ、大学と企業の共同研究、共同開発を進めていこうとしていました。また、私がヨーロッパへ行った時お会いした欧米の経営者の方々は、名刺に皆さん博士の学位を書かれていたんですよ。それで、世界で勝負していくためには、経営者という肩書きだけでは駄目だと感じました。そんな事あって、教授にはまず、社長である私が大学院に通って学位を取りたいと相談しました。まず、中小企業の経営者と大学が協力関係を築くことが、今後の共同研究、共同開発には重要であると考えたんです。また、社長である私が博士号をとることで、従業員にもやれば何事も達成できるんだというところを見せたいと思っています。今後、手を挙げる社員が出てくればサポートして行きたいと思っていますね。

——2007 年度、三重県経営品質賞優秀賞

を受賞されていますが

経営品質賞に取り組み始めたのは、それが、当社の従業員にとっても大きな誇りになると考えたからです。地元採用の社員がほとんどですから、こういった活動で社会的に高い評価を受けることで、良い企業で働いているという自信に繋がると思います。また、私はサブカルチャーが大好きで、コレクションしているフィギュアを展示した博物館を設置し、映画やドラマの DVD、コミック本などを社員に無料で貸し出すなど、遊び心あふれる福利厚生を整えています。

——総合格闘技の祭典「天下一武道会」のプロデュースなど、様々な事業に果敢に挑戦されるのはなぜですか

私は、震災により会社を失い再出発して軌道に乗せるのに必死で、30 代というものを失ってしまったんです。そのため、その 10 年を取り戻すため、10 歳若くならうと決意して体を鍛え始めました。合気道、ボクシングなど格闘技が好きなのですが、その武道を生かして地域活性を計りたいというのが、一番の理由です。私は、皆に大切に、チャホヤされる社長にはなりたくないです

ね。自分が、どんどん色んなことに挑戦をしてどんな作用が生まれるのか言わば、実験しています。中小企業経営者というヒエラルキーを壊していきたいんです。やはり、阪神大震災の経験は大きいです。人生最悪の日でしたから。ただ私は、震災をきっかけに、劇的に上昇に転じた人生にしたいと思っています。地震で地獄を見ましたが、それを見なかったことにしたり、その地獄にどっぷりつかったりするのではなく、それを機にダイナミックに盛り返し、最高の人生になったと言いたいんですよ。

経営者データファイル
Nobuo Matsuura's DATA FILE

趣味：武道、フィギュア収集、サーフィン
愛車：日産 GTR、コペン
購読雑誌：ホビー・ジャパン、ノスタルジックヒーロー
三重県の中で好きな場所：国府の浜、市後の浜などのサーフスポット
座右の銘：加速度のある人生を！！
好きな本：長いお別れ（レイモンド・チャンドラー）、ライ麦畑でつかまえて（サルンジャー）
好きな映画：多すぎるとで最近見た、ガチ・ボーイ
尊敬する人：江戸川乱歩、円谷英二

市場を 動かすような 何かを早く 実現させたい

ダイヤ製薬株式会社

代表取締役 **守金 大蔵**

1993 年、水溶性高分子技術 SOLinGEL テクノロジーを世界に先駆け開発。日本独自のその技術は、医薬品、化粧品、ヘルシーケア商品など様々な分野に応用され、大きなマーケットを形成している。



ダイヤ製薬株式会社

本社 奈良県橿原市上品寺町 515

TEL0744-20-1166

<http://www.dia-pharma.com>

——御社では、水溶性高分子技術を使った商品を沢山製造されていますが

そうですね、SOLinGEL（ソルインゲル）という言葉は父（現会長）の造語なんです。水溶性高分子を用いたパップ剤は、日本独自の技術なんです。優れた耐熱性・保形性をもつ GEL 剤と、薬物放出性に優れた基剤をバランスよく融合させた、これまでの貼付剤（テープ剤）とはまったく異なる技術になります。当社は OEM が中心なので、オリジナルブランドというのは少ないのですが、他社の多くのブランド商品が当社で共同開発、製造されています。

平成 6 年に、大手メーカーとの共同開発品である冷却シートが爆発的人気となりまして、従業員 20 名ほどだったのが社員数も一気に増えました。私が代表取締役になったのは 2 年前ですが、今後は会社の体制作りにもっと力を入れないといけないと思っています。

——お仕事と研究の両立で忙しいと思いますが、気分転換の方法はなんでしょう

大学に通うのが、一番の気分転換になっています。奈良から通うので大変と思われるかもしれませんが意外と近いですね。もともと、手に職を付けたくて大学は薬学部に行ったのです。医科学系は専門ではないんですよ。遺伝子に関することなど、分からない事も多く大変ですが、そういった新しいことを勉強するのも刺激になりますね。それに皆さん、同じ業界の方も多いですが、競合する分野ではないので、ネットワークも広がるし楽しいです。

あとは、そうですね、旅行には時間を作って行く様にしています。行き先は、携帯に電話がかかってこないように海外ですね。（笑）南の島でのんびりするのが好きです。時間が取れたら、次はハワイのキラウエア火山に行ってみたいと思っています。

——社長の目標はなんでしょう

大学院で研究したものを形にして実用化させたいです。市場を動かすような、大きく訴えられるような何かを早く実現させたいです。昔から、「ものづくり」が好きなんです。会社から、通わせてもらっていますので、しっかり成果を出さないといけません。

経営者データファイル
Daizou Morikane's DATA FILE

趣味：音楽鑑賞、野菜作り
好きな食べ物：ヨーグルト
嫌いな食べ物：レアな肉系が苦手
三重県の中で好きな場所：志摩ヨットハーバー
座右の銘：楽即能久
好きな本：歴史物（三国志や隋唐演義など）
好きな映画：最近では、パイレーツオブカリビアン 3
尊敬する人：高杉晋作

豊かな自然と美しい景観、そこで育まれた美味しい食材。
一度は味わっていただきたい、三重県の絶品食材をご紹介します。



伊勢エビ

旬10月～4月 伊勢志摩地方を代表する食材であり、見た目の豪華さ、素晴らしい味、まさに海の幸の王者。姿造りなどで、おめでたい席には欠かさない食材であり、姿形も厳格に評価される。



アワビ

旬6月～9月中旬 志摩地方を代表する高級食材。岩に張り付いているアワビを取るのは海女さん。



松阪牛

高級牛肉の代名詞とも言われる松阪牛。その定義は厳密に定められている。松阪駅周辺には、全国に知られた老舗の専門店も多く、すき焼き、焼肉などで一流の味を楽しむことができる。

やっぱり海の幸で決まり!

一度は食べたい!



海ぶどう

最近、英虞湾において、沖縄の食材として知られる海ぶどうの養殖に成功。これは本州最北。



かき

旬9月～3月 鳥羽の浦村かき、志摩的の矢力かが有名。全国でもトップクラスの品質を誇る。



みえ豚

栄養豊富で豚独特のニオイも少ない、豚のブランド肉。リーズナブルだが、飼料にもこだわり、大切に育てられている。しゃぶしゃぶによく合うと言われている。

発行日：2008年7月
発行：国立大学法人三重大学創造開発研究センター
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL：059-231-9763

制作：株式会社コミュニケーションサービス

編集後記

三重大学 産学官民連携マガジン「Yui-結-」創刊号では、第7回国際バイオEXPOに出展する5人の先生を特集しました。毎年多数の企業や大学が出展する、国際バイオEXPOの広大な会場では、研究分野の垣根を越えた多くの交流が生まれています。7人の社長特集では、三重大学大学院にかけけるそれぞれの熱い思いを語っていただきました。「結(ゆい)」とは、『結ぶ』ということ。たくさんの「結」のちからで「Yui-結-」も誕生しました。人との結い、産業との結い、地域との結い、そして読者との結い、さまざまな結びのかたちをこのマガジンを通じて、紹介していきたいと思います。

自分の可能性は自分が決める

こんな人を待っています

- ✓経営・経済・マネジメントに興味がある
- ✓やりたいことが見つからない or 漠然としている
- ✓就職活動を有利に進めたい
- ✓自分にどうすることがやれるか知りたい
- ✓知らない世界を覗いてみたい
- ✓研究室にこもりきりの生活を変えたい

修了生より Voice

『もともと研究者になる夢を持っていましたが、このプログラムを受けて、自分の理想とする研究者像を具体的に描けるようになりました。今後は目標高く、ワンランク上の研究者を目指すつもりです。』

『就職活動の際、このプログラムで学んだ経験をもとに、自身をアピールできました。結果、志望した企業に入ることができました。』

高度な研究開発能力
Research & Development

専門知識を実践の場で応用

例 ゼブラフィッシュを用いたドラッグ・スクリーニング技術の開発

ゼブラフィッシュ水槽の様子

ビジネス・エリート
Business Elite

現場実習・実務研修でビジネス・マネジメント能力を磨く

例 三重県南部地域の農作物ブランド化による地域振興

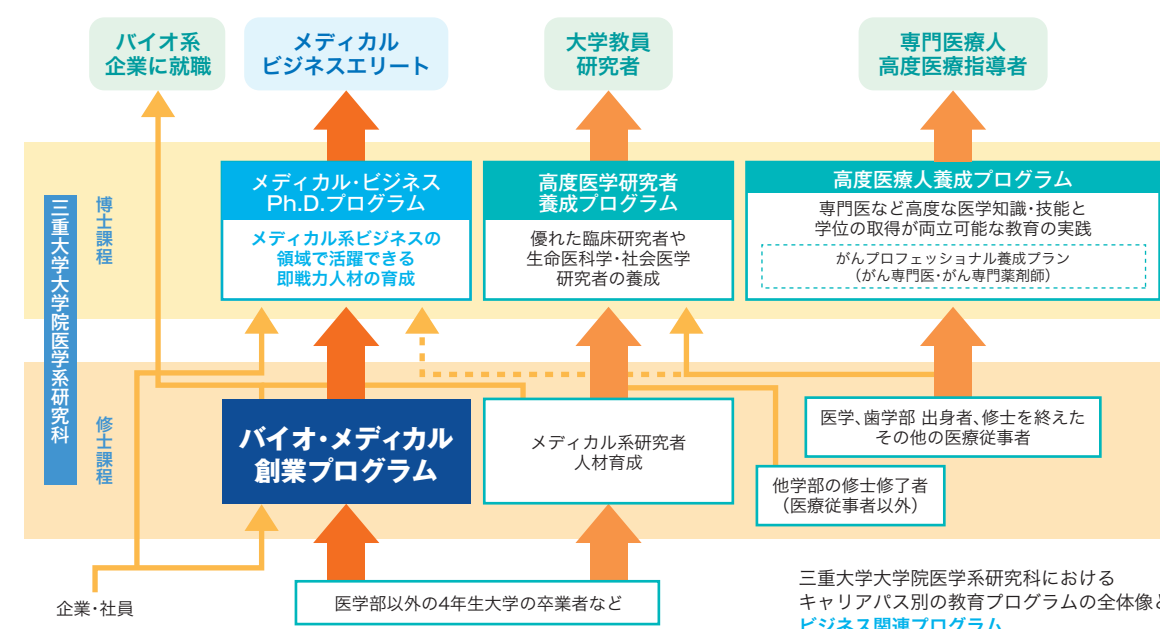
南伊勢町で新品種野菜の栽培

国際人
Cosmopolitan

海外研修で国際感覚を養う

海外研修の様子(アメリカ)

プロジェクトの立案から完成までを体験させる実践的な高度専門人材養成教育 バイオメディカル創業プログラム



お問い合わせ

三重大学医学部学務事務室大学院係
TEL:059-231-5424 FAX:059-231-5090
〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174

三重大学医学部産学連携医学研究推進機構
TEL&FAX:059-231-5405
<http://www.medic.mie-u.ac.jp/med-link/>